

くすりと健康のはなし

## 薬包紙

第106回

在宅介護委員

熊田 翔

一般社団法人岐阜県薬剤師会



皆さん、ジェネリック(以下GE)

医薬品と聞いてどんなイメージを思い浮かべるでしょうか?薬局窓口で患者様にGE医薬品について説明をしていると「安くて経済的だとは思いますが、その分品質が悪いんじゃない?」というお声をいただくことがあります。ですが、これははっきり言って間違いです。値段が安いからといって、先発医薬品と比べて品質が劣るわけではありません。

GE医薬品の薬価が安い理由は、「①研究開発に要する費用が少なく済むため」、「②先発医薬品の使用経験により有効性や安全性に関する評価がすでにある程度確立していることから、情報提供等に関する販売管理費が少なくて済むため」です。コストを抑えるために、粗悪な原薬等が使われているということは決してありませんので、ご安心ください。

ところで、皆さんは現在の国民医療費がいくらぐらいかご存じでしょうか?直近のデータでは43兆円を超え、そのうち2割以上は薬剤費が占めています。少子高齢化が進む中、この国民医療費は年々増加の一途をたどっており、2025年には54兆円

## ジェネリック医薬品について

になるとも言われています。このまま医療費がふくらみ続けると、国民皆保険制度が維持できなくなってしまう可能性もあります。

薬局窓口でお話を聞いていると、「自分はお金に困ってないので」とか「医療費が無料なので」という理由で、先発医薬品を希望される患者様がいらつしやいます。ですが、皆さんの窓口負担は総額の3割以下であり、残りの7割以上は国や地方の「税金」、国民保険組合・健康保険組合等の「保険料」によって賄われています。つまり、ご自身やご家族が払っている税金で払っているのです。ですので、自分自身の窓口負担額を気にしなくていい方も、ぜひ一度GE医薬品の使用について前向きに検討してみてください。

皆さん一人ひとりがGE医薬品に切り替えることによって、医療保険者の負担や国の財政負担を削減することができそうですので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

GE医薬品の使用について何か不安な点がある場合は、ぜひかかりつけの薬剤師にご相談なさってください。